

# WORLDWIDE AUTOMOTIVE LIGHTING

**2009 ANNUAL REPORT** 

2009年3月期

株式会社小糸製作所

# **PROFILE**

1915年の創業以来、小糸製作所は、オートモーティブ・ライティング分野を常にリードしてまいりました。

今日、その光·照明技術は、世界の自動車·航空機·鉄道·船舶などの輸送機器や、 交通システムのあらゆる分野において活用され、安全に大きく貢献しております。 「安全を光に託して」 小糸製作所

# コンテンツ

P	1	 株主・投資家の皆さまへ
P	2	 業績概要および中期展望
P	5	 地域別営業概況および今後の展開
		日本
		北米
		欧州
		アジア
P	12	 研究開発
P	14	 社会貢献・環境への取り組み
P	15	 コーポレート・ガバナンス
P	16	 役員
P	17	 財務セクション
P	38	 コーポレート・インフォメーション
P	39	株式会社小糸製作所 拠点一覧
P	40	グローバルネットワーク

# 予想および見通しについて

このアニュアルレポートには、小糸製作所および関係会社の将来についての計画や戦略、業績に関する予想および見通しの記述が含まれております。これらの記述は過去の事実ではなく、当社が現時点で把握可能な情報から判断した仮定および所信にもとづく見込みです。また、経済動向、自動車産業界における激しい競争、市場動向、為替レート、税制や諸制度などに関わるリスクや不確実性を含んでおります。それゆえ実際の業績は当社の見込みとは異なる可能性のあることをご承知おき願います。

アニュアルレポートの開示における公平性および充実化の観点から、英文アニュアルレポートに加え、和文アニュアルレポートを発行しております。和文アニュアルレポートの発行にあたっては、財務報告部分の英文と和文との表現における相違がなきよう、公認会計士のレビューを受けております。このアニュアルレポートが、皆さまにとって当社および当社グループをご理解いただく上でお役に立てば幸いです。



小糸グループの2009年3月期業績は、期前半は比較的順調に推移いたしましたが、期後半からは世界的な経済情勢の悪化に伴い、 国内外で大幅、且つ急激な自動車減産となり、売上高・利益ともに大幅に減少いたしました。

2010年3月期につきましては、新規車種の受注拡大、新製品拡販を展開するとともに、原価低減諸施策を強力に推進するものの、国内外における自動車減産の影響は大きく、売上高は2期連続の減収の見通しであります。

昨今の経済情勢は、世界的な金融危機、株価の大幅下落、為替変動など世界同時不況の最中にあり、自動車産業も日本や米国・欧州を中心に世界各地域で大幅減産となっております。加えて、従来好調であったアジア地域においても減産傾向が強まり、小糸グループを取り巻く経営環境は極めて厳しい状況にあります。

このような状況のなか、受注活動の強化、生産性向上、相互供給・相互補完に加え、人件費削減、設備投資抑制等による固定費削減により、生産量に見合った事業規模へのダウンサイジングを強力に展開、業績改善に取り組んでおります。

小糸グループは、日本、及び海外8ヵ国において自動車照明器を生産、世界4極(日本、北米、欧州、アジア)対応のグローバルサプライヤーとして世界各国に製品を提供しております。お客さまにご満足いただけますようグループ各社一丸となって、安全・環境にも配慮した製品開発(Development)を進め、品質(Quality)、コスト(Cost)、納期(Delivery)の向上を目指すとともに、お客さま対応のスピード(Speed)を重視、DQCDSを旗印に、企業力の強化に努めております。

小糸グループは、企業メッセージ「安全を光に託して」のもと、自動車照明器を柱に、航空・船舶などの輸送機器や交通システムのあらゆる分野で製品開発を進め、これからもより安全で快適な社会づくりを目指し事業展開してまいります。

21世紀も自動車照明器分野のリーディングカンパニーであり続けるために、最新・最高のテクノロジーの追求と更なる性能・品質向上を目指し、社員の育成・レベルアップに取り組むとともに、「常にお客さまの立場で考え、ご満足いただける製品・サービスを提供する」という基本姿勢を忘れることなく努力し続けてまいりますので、今後とも、皆さまのご支援ご厚情を心よりお願い申し上げます。

2009年9月

取締役会長

取締役社長

大嶽隆司

大嶽昌宏

# 業績概要および中期展望

# 2009年3月期の業績について

当期における経済情勢は、期前半は比較的順調に推移いたしましたが、米国大手証券会社の経営破綻など世界的な金融不安、株価下落、為替の変動などにより一変、期後半には金融不安が実体経済に波及し、日本や米国・欧州等の先進国では景気後退局面に転じるほか、中国等の新興国における経済成長も鈍化するなど、世界同時不況となりました。

自動車産業におきましても国内外の景気減退の影響を受け、国内生産は内需が減少するなか、期後半からは牽引役の輸出向けも減少し、生産台数は大幅減産となり2001年度以来7年振りの1,000万台割れとなりました。海外におきましても、北米・欧州を中心に世界各地域で大幅減産となり、好調であったアジア地域でも減産傾向が強まり、総じて世界の自動車生産台数は前年比2割減と急激に縮小いたしました。

このような状況のもと、当期における売上高は、主力の自動車照明関連事業が自動車減産の影響に伴い大幅減収となり、前期比15.0%減の4,002億円となりました。

利益につきましては、国内外における自動車減産、特に第4四半期における各自動車メーカーの在庫調整を含めた大幅、且つ急激な減産により収益が大幅に悪化いたしました。受注量の減少に対応するため、設備投資抑制、国内工場の一時閉鎖など事業規模のダウンサイジングを図るとともに、役員報酬及び管理職給与の減額等グループ各社挙げての原価低減諸施策を強力に推進、合理化に努めましたものの、営業利益は前期比68.5%減の91億円となり、経常利益は前期比69.5%減の92億円、当期純利益は前期比74.1%減の40億円となりました。

当期末の1株当たり株主配当金につきましては、業績が前期に比べ大幅に悪化したことに加え、引き続き厳しい経営環境が予測されること、並びに継続的な配当を考慮し、誠に遺憾ではございますが、前年同期比4円減の8円にて実施させていただきました。これにより、中間配当金を含めました当期の年間配当金は、前期比3円減の20円となりました。今後とも株主皆さまのご期待にお応えすべく、収益改善・向上に努めてまいりたく存じます。

取締役会長

大嶽 隆司

# 連結財務ハイライト株式会社小糸製作所及び連結会社

株式会社が保護作所及の連結会社 3月31日に終了した事業年度	(	千米ドル (1株当たり情報を除く)		
	2007	2008	2009	2009
年間:				
売上高	¥452,520	¥470,648	¥400,232	\$4,074,438
営業利益	21,328	28,959	9,131	92,955
当期純利益	13,374	15,581	4,042	41,148
<b>1株当たり金額</b> (円及び米ドル):				
当期純利益	¥ 83.23	¥ 96.95	¥ 25.16	\$ 0.26
期末現在:				
資産合計	¥385,300	¥388,585	¥351,869	\$3,582,093
資本合計	149,553	151,713	142,184	1,447,460

注記:米ドル金額は、便宜上2009年3月31日時点の1ドル98.23円の為替レートによって換算されている。

# 2010年3月期の見通し

国内外の経済情勢は、世界的な金融危機、株価の大幅下落、為替変動により、世界同時 不況の最中にあり、当社を取り巻く経営環境は、極めて厳しい状況にあります。

このような状況のなか、小糸グループは、受注活動の強化、生産性向上、相互供給・相互補完に加え、生産量に見合った事業規模への更なるダウンサイジング、及び原価低減諸施策の強力な展開を図り、今後とも業績改善に取り組んでまいる所存であります。

2010年3月期の連結業績につきましては、売上高が、新規車種の受注拡大、新製品拡 販などを展開するものの、国内外における自動車減産の影響は大きく、2期連続の減収の 予想であります。利益につきましても、原価低減諸施策を更に展開してまいりますが、自 動車減産に伴う減収により収益が悪化し、大変厳しい見通しであります。



取締役社長 大嶽 昌宏

# 中期展望

自動車産業は、グローバル化の更なる進展に伴い世界競合がますます熾烈化、経営環境は一段と厳しさを増しております。加えて、自動車生産台数は、世界的な景気減速の影響を受け、日本・北米・西欧においては大幅な減産となっており、現在のところ世界市場は縮小傾向にあります。しかしながら、中長期的には、BRICsなどの新興市場でのモータリゼーションに伴う需要増が期待され、生産拡大が予測されております。

このような自動車産業の中長期の動向は、小糸グループにとりまして大きなビジネスチャンスであると考えております。当社は現在、海外8ヵ国の12社19生産拠点で事業を展開、世界最適地生産に対応して競争力・収益力を更に高めるべく、グループ各社の企業体質強化と充実に取り組んでおります。国内におきましても、経営資源の効率的活用、事業構造の最適化を加速させております。

事業別には、主力である自動車照明関連事業は、世界の主要カーメーカーが生産を拡大する地域、あるいは潜在需要地域における動向を的確に把握し受注活動を推進しております。世界戦略車投入に伴う仕様・品質の同一化及び均一化への対応として、技術移転・相互補完促進を図るとともに、LEDヘッドランプ、ディスチャージヘッドランプ、AFS(配光可変型ヘッドランプ)など高付加価値製品の市場投入を積極的に行うことにより、受注拡大を図っております。

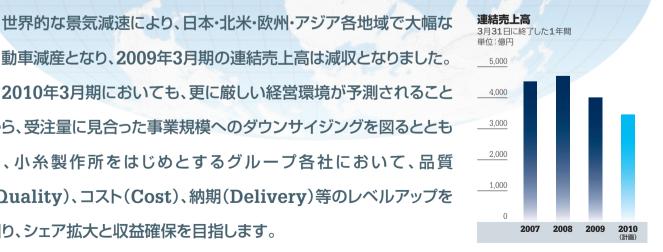


# 地域別営業概況および今後の展開



# **OUTLOOK FOR MEDIUM-TERM GLOBAL STRATEGIES**

自動車減産となり、2009年3月期の連結売上高は減収となりました。 2010年3月期においても、更に厳しい経営環境が予測されること から、受注量に見合った事業規模へのダウンサイジングを図るととも に、小糸製作所をはじめとするグループ各社において、品質 (Quality)、コスト(Cost)、納期(Delivery)等のレベルアップを 図り、シェア拡大と収益確保を目指します。



# 売上高 [日本] 3月31日に終了した1年間

# 売上高 [日本] 3月31日に終了した1年間 (百万円) 300,000 250,000 150,000 100,000 0

# 売上高構成比率 [日本] 2009年3月期

# JAPAN [日本]

国内自動車産業は、国内外の景気減退の影響を受け、国内生産は 内需が減少するなか、期後半からは牽引役の輸出向けも減少し、前 年比15.2%減の999万台と大幅減産となり、2001年度以来7年振り の1,000万台割れとなりました。

# 小糸製作所

小糸製作所の売上高は、主力の自動車照明器において新製品の拡販に努めましたものの、自動車減産の影響に伴い大幅減収となり、前期比13.5%減の2,144億円となりました。

部門別の状況は、次のとおりです。

# • 自動車照明器部門

期前半は順調な自動車需要に支えられ前期を上回る受注状況で推移いたしましたが、期後半からは急速、且つ大幅な自動車減産となり、当社の受注量も激減し、売上高は前期比14.8%減の2.011億円となりました。

# • 航空機部品部門

景気減速の煽りを受け航空機需要が減少 したことから、売上高は前期比6.9%減の 31億円となりました。

# • その他部門

自動車用電装品などが増加したことから、 売上高は前期比19.2%増の101億円となりました。

利益につきましては、自動車照明器の価格競争激化や、原油価格高騰による樹脂材料価格の値上げなど厳しい経営環境のな

か、期後半からは各自動車メーカーの在庫 調整を含めた急激な減産により収益が大幅 に悪化いたしました。受注量の減少に対応 するため、設備投資抑制、吉川工場(静岡 県)の一時閉鎖など事業規模のダウンサイ ジングを図るとともに、役員報酬及び管理職 給与の減額等全社挙げての業績改善活動 を強力に推進、合理化に努めましたものの、 営業利益は前期比57.3%減の64億円、 当期純利益も前期比56.5%減の56億円 となりました。

設備投資につきましては、自動車照明器の新製品・モデルチェンジ、及び品質・合理化・原価低減関連設備と金型・治具など、 123億円を実施いたしました。

国内自動車生産台数の今後の見通しにつきましては、国内外の景気が後退局面にあることから、国内販売、輸出向けともに減少傾向が継続、前年に対し更なる減産が予測されています。

当社としては、新製品の拡販、シェアアップに努めるとともに、業績改善活動の強力な推進により収益力を強化するほか、経営の効率化を展開してまいります。



65.8%

小糸製作所 静岡工場



小糸製作所 榛原工場



小糸製作所 吉川工場



小糸製作所 相良工場



小糸製作所 富士川工機工場

# 小糸九州

小糸九州は、自動車メーカー各社の九州 地区での増産に対応するとともに、東海地 震に対するリスク分散、物流効率の向上な どを狙いに2005年11月設立、2006年 10月工場を開設、2008年9月には第2工 場が稼動いたしました。

2009年3月期の売上高は、国内自動車 生産の減少により、前期比10.3%減の 194億円となりました。



小糸九州 本社·工場

# 小糸工業

小糸工業の2009年3月期連結売上高は、電気機器関連事業が前期並みの売上を確保したものの、輸送機器関連事業、住設環境関連事業が減収となったことから、前期比2.3%減の614億円となりました。

部門別の状況は、次のとおりです。

# • 輸送機器関連事業

鉄道車両機器は前期並みを確保いたしましたが、航空機シートが減少したことから、前期比4.5%減の316億円となりました。

# • 電気機器関連事業

照明機器が増加したものの、情報システム機器、交通システム機器が減少したことにより、前期並みの268億円となりました。

# • 住設環境関連事業

住設機器部門は増加したものの、環境システム部門が減少したことから、前期比3.8%減の29億円となりました。

利益につきましては、全社挙げての経費の節減、コスト低減による効果、選択と集中の方針に基づく利益率の改善などにより、連結営業利益は前期比29.8%増の24億円となりました。連結当期純利益におきましては、第2四半期に発生した保有債券に関する損失を含め特別損失11億円を計上したことにより、前期比24.6%減の9億円となりました。



小糸工業 本社·工場



小糸工業 富士長泉工場

# NORTH AMERICA [北米]

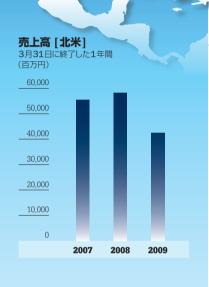
2008年度の北米自動車生産は、金融危機、株価下落、ドル安など に伴う個人消費低迷、景気減速により大幅な減産となり、前年比 29.3%減の915万台となりました。

北米においては、1983年設立のノース・ アメリカン・ライティング・インク(NAL)が ビッグスリー、及びすべての日系カーメー カーへ自動車照明器を納入しており、現在 では、独立系灯具メーカーとしては、全米 No.1の規模に成長しています。NALは、米 国イリノイ州のパリス工場、フローラ工場、 セーラム工場、そして2007年7月に稼動し た米国南部のアラバマ工場の4つの生産拠 点と、ミシガン州ファーミントンヒルズ市の 技術センターにより事業を展開しています。

自動車照明以外の事業として、KPS N.A., INC. では、航空機シートの部品販売 や、鉄道車両用シート・電装品の製造・販売 等を行っています。

2009年3月期の売上高は、新規受注の 拡大を図るも、急激、且つ大幅な自動車減 産の影響により、前期比27.1%減の424 億円となりました。

今後とも、受注活動の充実、生産性向 上、原価低減活動の推進等により、収益力 向上、企業体質強化を図ってまいります。



売上高構成比率 [北米] 2009年3月期





NAL パリス工場



NAL セーラム工場



NAL フローラ工場



NAL アラバマ工場



NAL 本社(パリス市)



NAL 技術センター

# EUROPE [欧州]

2008年度の欧州自動車生産は、世界的な景気減速により、堅調であった中・東欧、ロシアを含め大幅な減産となり、前年比16.0%減の1,721万台となりました。

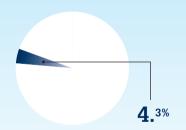
欧州における自動車照明器事業は、欧州を統括するコイト・ヨーロッパNV(KENV)のもと、英国ドロイトウィッチ市のコイト・ヨーロッパ・リミテッド(KEL)、及びチェコ共和国ジャーテッツ市のコイト・チェコ s.r.o.(KCZ)の2生産拠点にて展開しています。

欧州事業における2009年3月期の売上高は、自動車生産が大幅減少するなか、現地自動車メーカー向けを主体に拡販活動を展開したものの、前期比31.5%減の171億円となりました。現地開発体制の強化、戦略的受注活動の展開、業務効率化などによる競争力・収益力の向上を図り、欧州における中長期的な受注拡大、収益改善を目指してまいります。



売上高構成比率 [欧州] 2009年3月期

2009年3月期 (%)





コイト・ヨーロッパ**NV** 



コイト・ヨーロッパ



コイト・チェコ

# 売上高 [アジア 3月31日に終了した1年間 (百万円) 100,000 80,000

# 売上高構成比率 [アジア] 2009年3月期

2007

2008

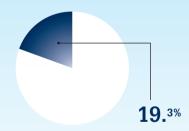
2009

60,000

40.000

20,000

0



# ASIA [アジア]

2008年度のアジアの自動車生産は、世界的な景気減速の影響を受 け、インド・タイ等の新興国においても減産となり、前年比3.7%減の 1.756万台となりました。

# China [中華人民共和国]

中国自動車産業は、経済成長に伴い、 2008年度の自動車生産台数は、前年比 1.7%増の936万台となりました。

中国においては、1989年に合弁設立し た上海小糸車灯有限公司(上海小糸)、 2005年9月に子会社化した福州小糸大億 車灯有限公司(福州小糸大億)、及び同年 11月に設立した広州小糸車灯有限公司(広 州小糸)の3社にて自動車照明器事業を展 開しています。上海小糸には、自動車部品 メーカーとしていち早く技術センターを開 設(2002年4月)、その製品開発力、金型 製造能力、品質体制は、カーメーカーから 高い評価を得ています。

自動車照明関連以外の事業として、常州 小糸今創交通設備有限公司では、鉄道車両 用電装品を製造・販売しています。

2009年3月期の売上高は、自動車生産 台数が微増のなか、受注車種の減少により、 前期比6.3%減の586億円となりました。

中国の自動車産業は、今後も経済成長を 背景に発展を続け、2009年度の自動車生 産台数は1,000万台に達するとの予測も されています。この動向を踏まえ、適切な 対応により、事業拡大、収益向上を図って まいります。



広州小糸





上海小糸 第1·2工場



上海小糸 第3工場



上海小糸 技術センター

# Thailand [タイ]

2008年度のタイ自動車生産台数は、輸出 向け生産台数の減少により、前年比9.7% 減の123万台となりました。

タイにおいては、1986年設立のタイ・コイト・カンパニー・リミテッド(タイ・コイト)が、日系カーメーカーのすべてに自動車照明器を納入しています。なかでも世界戦略車であるトヨタのIMV、カムリや、いすずのD-MAX等の主要ランプを受注しています。

2009年3月期の売上高は、受注車種の大幅減産により、前期比24.9%減の155億円となりました。引き続き、各カーメーカーの世界戦略車向けランプの受注に注力し、収益改善を図ってまいります。



タイ・コイト

# Taiwan [台湾]

2008年度の台湾自動車生産は、前年比 42.3%減の16万台となりました。

台湾では、1988年に資本参加した大億 交通工業製造股份有限公司(大億交通)が 事業展開しており、ヘッドランプ・標識灯と もに7割前後の高いシェアを誇っています。

2009年3月期の売上高は、ヘッドランプの大型化、ディスチャージ化など高機能化が進捗しているものの、自動車牛産台数の

減少により、前期比29.3%減の86億円となりました。

台湾の自動車生産台数は、 今後大きな伸びは期待できないものの、長期的な成長発展に向け、高付加価値ランプの 投入と、航空機、鉄道車両などの新規事業分野での積極的な製品開発を展開してまいります。



大億交通

# India [インド]

2008年度のインド自動車生産は、年後 半の減産により、前年比3.3%減の224万 台となりました。

インドでは、**1997**年にルーカス**TVS**と 合弁で設立したインディア・ジャパン・ライ ティング・プライベート・リミテッド(IJL)が 着実に売上を伸ばしています。

IJLは中長期的な受注拡大に対応すべく、 インド北部ハリアナ州バワールに第2工場 を建設、2007年9月に稼動いたしました。 2009年3月期の売上高は、自動車減産の影響により前期比17.7%減の30億円となりました。インドは、将来的に生産拡大が期待されており、更なる収益向上を図ってまいります。



IJL チェンナイ工場



IJL バワール工場

# 研究開発

小糸グループは、先端技術を追求・創造する研究開発と、それらを効率良く製品化するライン開発により、ユーザーニーズを先取りした魅力ある商品をタイムリーに提供しています。同時に、安全の徹底追求、及び環境に配慮したリサイクル、負荷の少ない材料・工法などの開発により、人と地球にやさしい「ものづくり」を目指しています。

小糸グループの研究開発は、自動車照明関連事業では、小糸製作所技術センター(日本)を中心に、NAL技術センター(米国)、KENV技術セクション(ベルギー)、上海小糸技術センター(中国)の世界4極



小糸製作所 技術センター

で展開しており、多極化する世界カーメーカーへの開発対応を進めています。自動車照明以外・電気機器関連事業、及びその他事業では、小糸製作所と小糸工業の技術センターが中心となり、研究開発を進めています。グループ全体の研究開発スタッフは、2009年3月末時点で2,042名です。

なお、当期の研究開発費の総額は188億円となり、セグメント別の研究開発費は、自動車照明関連事業が175億円、自動車照明以外・電気機器関連事業が4億円、その他事業が8億円となりました。

事業セグメント別の主な研究開発内容は次のとおりです。

# 自動車照明関連事業

- 1. 自動車照明器のコア技術(光学、電子、機構、 構造など)の開発
- 2. 生産技術の開発
- 3. シミュレーション技術の開発 など

# 自動車照明以外•電気機器関連事業

- 1. 鉄道車両関連電装品の開発
- 2. ITS関連機材としてのシステム開発
- 3. インターネットを応用したシステム開発 など

# その他事業

- 1. 照明器以外の自動車部品
- 2. 航空機部品・シートの開発
- 3. 新規事業分野の新商品開発 など









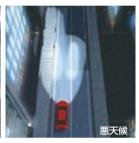


# LEDヘッドランプの開発

当社は2007年5月、世界初となるLEDへッドランプの実用化に成功いたしました。LEDへッドランプは、高出力白色LED(発光ダイオード)を採用した次世代ヘッドランプです。独自の光学制御システムと最適点灯システムにより、世界トップクラスの明るさと点灯速度を実現しています。また白色LEDは長寿命化、省エネ化、省スペース化を実現するなど、地球環境にもやさしいランプとして期待されています。

LEDヘッドランプの更なる性能・品質向上を目指し、研究開発に鋭意取り組んでいます。







# AFS (配光可変型ヘッドランプ: Adaptive Front Lighting System)の開発

AFSは、走行環境に応じて光を最適にコントロールし、より安全に運転できる 視覚環境をつくりだす配光可変型ヘッドランプシステムです。当社は2003年2 月に世界初となるAFSの実用化に成功、多くの車に採用されています。

現在、各種センサーの情報により自動的に配光を上下、左右に可変させるフル AFSの採用拡大に向け、技術開発を進めています。



# 水銀フリーディスチャージへッドランプの開発

ディスチャージバルブには、極微量ながら環境負荷物質である水銀が含まれて います。ディスチャージバルブに含まれる水銀は、電球として電気特性の安定化、 効率維持には欠かせない物質で代替化が困難とされていました。

当社は水銀フリー化を実現すべく、関係メーカーと共同開発を進め、水銀を使用せずに従来と同等の性能を持つ水銀フリーディスチャージバルブと、水銀フリーに対応した超小型・軽量の点灯制御装置(バラスト)を新たに開発、2004年7月世界で初めて量産化しました。

# 社会貢献・環境への取り組み

#### コミュニケーション活動と社会貢献活動

当社は、社会と企業の信頼関係を築き上げるため、地域社会や得意先、仕入先、投資家をはじめとするさまざまなステークホルダーの皆さまに配慮し、経営を行うことが大切であると考えています。当社の事業活動や環境保全に対する取り組みをご理解いただくために、ホームページやアニュアルレポート、そして環境報告書を通じて情報の提供を行っています。

また、身近な環境問題に接することで従業員の意識を高めるとともに、地域社会との信頼関係構築のため、清掃活動への参加などによる地域の環境美化、自然環境保護に貢献する活動も積極的に推進しています。今後も、従業員一人ひとりがよき企業市民としての社会的責任を果たし、積極的な社会貢献活動を展開していきたいと考えています。

# 推進体制と環境マネジメントシステム

当社では、環境委員会を設置しており、その下に環境保全委員会、環境監査委員会、エネルギー・CO<sub>2</sub> 削減委員会、リサイクル推進委員会を置き、環境負荷低減の継続的な活動を全社横断的に推進しています。

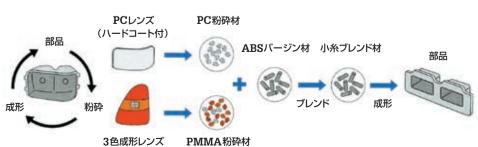
更に、開発から生産まで、環境マネジメントの国際規格であるISO14001に沿って全社一貫の環境マネジメントシステムを構築し、PDCAのサイクルによる継続的パフォーマンス向上に全員参加で取り組んでいます。2003年1月までに、国内5ヵ所すべての生産拠点でISO14001の認証取得を完了しました。また、小糸グループとして環境保全体制を更に充実させるため、関係会社における環境マネジメントシステム構築やISO14001認証取得の支援などを進めており、これまで、海外関係会社9社を含めた13社がISO14001の認証を取得しています。今後とも、それぞれの国や地域の状況にあわせた環境保全活動を展開してまいります。

# 環境に配慮したものづくりの推進

小糸グループでは、ものづくりによる環境への負荷を低減するため、省エネルギーや廃棄物量低減、 化学物質削減に取り組み、これらの投入量と排出量を把握し最小化するよう努めています。更に、主要 製品である自動車用ランプを製造する段階だけでなく、製品の開発段階から生産、使用、廃棄・リサイクルまでのライフサイクル全体を通し、総合的な環境負荷を低減するための施策を推進しています。

加えて、「京都議定書」に基づく地球温暖化対策として、省エネルギーや生産効率の向上など、二酸化炭素  $(CO_2)$  排出量低減を積極的に推進しています。2008年度からは、総排出量低減を目標に、「 $2008\sim2012$ 年度の5年間平均で1990年度比7%減」を設定するなど、取り組みを強化しています。

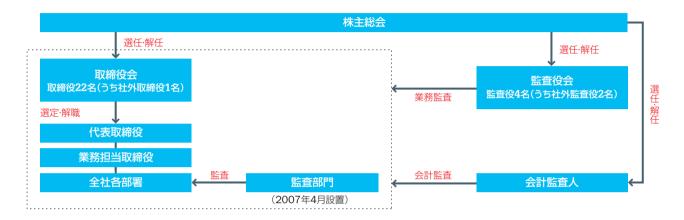
当社は、廃棄物を出さないことを第一に発生を抑制、生産過程での環境負荷物質の使用禁止、リデュース(Reduce)、リユース(Reuse)、リサイクル(Recycle)の3Rが可能なランプの構造設計や製品・部品の開発を促進しています。3R活動の推進により、ゼロエミッションを早期に達成、維持するなど、国際社会が求める地球環境保全を積極的に展開しています。



# コーポレート・ガバナンス

当社のコーポレート・ガバナンスに関する基本的な考え方は、すべてのステークホルダーから信頼される企業であり続けるために、企業倫理の重要性と経営の健全性を認識し、コーポレート・ガバナンスの充実、及びコンプライアンスの強化を経営の最重要課題と位置付けています。取り組みの一環として、社外取締役の導入、監査役及び監査役会の強化を図るなど、経営の意思決定と執行の透明性・公正性を目指しています。

また、金融商品取引法(日本版SOX法)への対応として、監査部門を設置し、内部統制機能の強化に努めております。



# (1)会社の機関の内容及び内部統制システム並びにリスク管理体制の整備状況

当社は、取締役会により業務執行の監督を行い、監査役会により業務執行の監査を行っています。取締役会は取締役22名(うち社外取締役1名)で構成され、原則月1回開催、取締役・監査役出席のもと業務執行状況の報告、重要事項についての意思決定がなされています。

監査役会は、監査役4名(うち社外監査役2名)で構成され、各監査役は監査方針に従い取締役会への出席や、業務・財産の状況調査等を通じ、 取締役の職務遂行の監査を行っています。また、常勤監査役は常務会に出席するほか、重要な会議・委員会に出席、取締役の業務執行状況を監 査しています。監査役と内部監査部門の連携状況については、主に総務部(監査課)、及び経理部門が内部監査機能を有し、監査役は、内部監査 部門より監査計画並びに監査の方法、及び結果について定期的に報告を受けるほか、必要に応じ情報交換を行っています。

リスクに対しては、その低減及び回避のための諸施策を実施するほか、日常の管理は社内各部門が分担しています。また、万一リスクが現実のものとなった場合には、経営トップの指揮のもと迅速・適切な対応を図ることを基本としています。

# (会計監査の状況)

財務諸表の適正性を確保するため、会計監査人から監査役会、及び取締役会が逐次関係法令に基づく会計監査実施経過の報告を受けています。 なお、会計監査業務を執行した公認会計士は水野刀治氏、桜井欣吾氏、長澤明郎氏の3名であり、会計監査業務に係る補助者は公認会計士3 名、その他1名であります。監査証明を個人会計士が行っている場合における審査体制については、第三者である公認会計士への委託審査を行っています。

# (2)役員報酬及び監査報酬

当期における当社の取締役・監査役に対する役員報酬、及び会計監査人に対する監査報酬は以下のとおりです。

役員報酬:		監査報酬:	
取締役に支払った報酬	1,047百万円	監査証明に係る報酬	40百万円
監査役に支払った報酬	91百万円	(公認会計士法第2条第1項に規定する業務に基	づく報酬)
	1,138百万円		- CINDAIN

# 役員



**代表取締役会長** 大嶽 隆司

大嶽 隆司

取締役会長



**代表取締役社長** 大嶽 昌宏

専務取締役



代表取締役副社長 後藤 周一

小石原 宏



**代表取締役副社長** 菊地 光雄

鹿島 幾三郎

取締役

				鈴木	俊治		有馬	健司
取締役社長	大嶽	昌宏		横矢	雄二		加藤	充明
				榊原	公一		豊田	淳
取締役副社長	後藤	周一					山梨	隆夫
	菊地	光雄	常務取締役	佐野	伊三夫		内山	正巳
					洋平		井上	敦
				三原	弘志		佐藤	清
				植木	和雄		小長行	今 秀治
				瀧川	修己			
						常勤監査役	中川	豊文
							長澤	亮
						監査役	草野	耕一

(2009年6月26日現在)

川島 信義

# 財務セクション

# コンテンツ

P18	 10年間の主要財務データ
P20	 経営報告
P24	 連結貸借対照表
P26	 連結損益計算書
P27	 連結株主持分計算書
P28	 連結キャッシュ・フロー計算書
P29	 連結財務諸表注記
D37	独立昨春人の昨春報生津及び内部統制昨春報生主

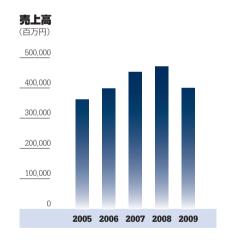
# 10年間の主要財務データ

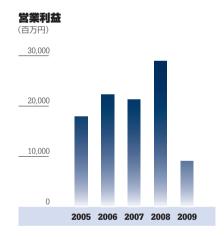
株式会社小糸製作所及び連結会社 3月31日に終了した事業年度

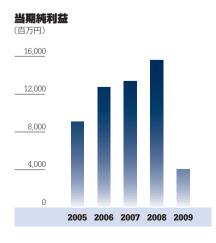
百万円 (1株当たり情報を除く)

	(1株当たり情報を除く)							
連結	2000	2001	2002	2003				
年間:								
売上高	¥279,034	¥297,280	¥301,141	¥311,133				
営業利益	9,288	10,991	9,779	13,157				
税金等調整前及び少数株主利益控除前当期純利益	7,341	6,190	6,292	12,766				
法人税、住民税及び事業税	2,997	2,476	2,516	5,113				
当期純利益	3,412	3,072	2,784	5,826				
1株当たり金額(円及び米ドル):								
当期純利益	¥ 21.23	¥ 19.11	¥ 17.38	¥ 35.51				
配当額	10.00	8.00	8.00	10.00				
期末現在:								
運転資本	¥ 51,060	¥ 16,724	¥ 27,340	¥ 26,663				
有形固定資産、減価償却累計額控除後	61,448	64,856	69,148	66,342				
資産合計	275,063	306,084	295,097	290,397				
資本合計	92,848	102,532	101,738	102,475				

注記:米ドル金額は、便宜上2009年3月31日時点の1ドル98.23円の為替レートによって換算されています。

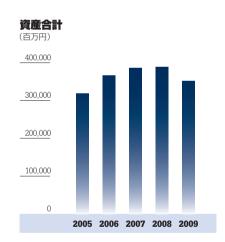


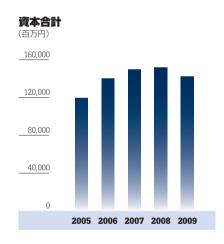


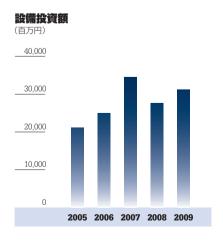


千米ドル
(1株当たり情報を除く)

(1//-												
	2009		2008		2007		2006		2005		2004	
\$4	100,232	¥4	470,648		452,520		€397,509	7	¥361,477	54	¥334,2	
	9,131		28,959		21,328		22,262	2	17,962	23	13,72	
	7,980		30,097		24,799		23,277	7	18,287	61	14,00	
	2,051		11,678		9,622		9,078	5	7,225	54	5,5	
	4,042		15,581		13,374		12,731	3	9,093	40	6,44	
\$	25.16	¥	96.95		83.23		¥ 79.39	2	¥ 55.62	.19	¥ 39.3	
	20.00		23.00		22.00		20.00	)	14.00	.00	12.0	
\$	13,091	¥	26,813		4 24,182		£ 27,993	3	¥ 24,043	85	¥ 18,08	
	83,244		83,875		84,644		76,800	3	70,106	81	66,98	
3	351,869	3	388,585		385,300		366,254	Э	318,739	344	299,34	
	42,184	1	151.713		149,553		139,849	3	119 278	07	111 70	
,	\$4, \$	2009  00,232 \$4, 9,131 7,980 2,051 4,042  25.16 20.00  13,091 \$ 83,244 51,869 3,	2009  \$400,232 \$4, 9,131 7,980 2,051 4,042  \$25.16 \$ 20.00  \$13,091 \$ 83,244 351,869 3,	2008 2009  \$\frac{2008}{2009}\$  \$\frac{4}{4}70,648	2008 2009  \$\frac{\pmatrix}{4470,648}  \textbf{\pmatrix}{\pmatrix}400,232  \textsquare \text	2007       2008       2009         ¥452,520       ¥470,648       ¥400,232       \$4,         21,328       28,959       9,131       24,799       30,097       7,980       9,622       11,678       2,051       13,374       15,581       4,042       4,042       \$2,051       \$2,051       \$2,051       \$2,051       \$2,051       \$2,051       \$2,051       \$2,051       \$2,051       \$2,051       \$3,000	2007       2008       2009         ¥452,520       ¥470,648       ¥400,232       \$4,         21,328       28,959       9,131         24,799       30,097       7,980         9,622       11,678       2,051         13,374       15,581       4,042         ¥ 83.23       ¥ 96.95       ¥ 25.16       \$         22.00       23.00       20.00         ¥ 24,182       ¥ 26,813       ¥ 13,091       \$         84,644       83,875       83,244         385,300       388,585       351,869       3,	2006       2007       2008       2009         ¥397,509       ¥452,520       ¥470,648       ¥400,232       \$4,         22,262       21,328       28,959       9,131         23,277       24,799       30,097       7,980         9,078       9,622       11,678       2,051         12,731       13,374       15,581       4,042         ¥ 79.39       ¥ 83.23       ¥ 96.95       ¥ 25.16       \$         20.00       22.00       23.00       20.00         ¥ 27,993       ¥ 24,182       ¥ 26,813       ¥ 13,091       \$         76,800       84,644       83,875       83,244         366,254       385,300       388,585       351,869       3,	2006       2007       2008       2009         7       \$397,509       \$452,520       \$470,648       \$400,232       \$4,22,262       \$4,21,328       \$28,959       \$9,131       \$4,22,262       \$21,328       \$28,959       \$9,131       \$4,23,277       \$24,799       \$30,097       \$7,980       \$30,097       \$30,097       \$30,097       \$30,091       \$30,091       \$30,091       \$4,042 <t< td=""><td>2005       2006       2007       2008       2009         \$4361,477       \$4397,509       \$4452,520       \$470,648       \$4400,232       \$4,17,962       \$2,262       \$21,328       \$28,959       \$9,131         \$18,287       \$23,277       \$24,799       \$30,097       \$7,980         \$7,225       \$9,078       \$9,622       \$11,678       \$2,051         \$9,093       \$12,731       \$13,374       \$15,581       \$4,042         \$4,042       \$4,042       \$4,042       \$4,042       \$4,042         \$4,043       \$4,049</td><td>2005       2006       2007       2008       2009         54       \( \frac{2}{3}\) \) 17,962       22,262       21,328       28,959       9,131         51       18,287       23,277       24,799       30,097       7,980         54       7,225       9,078       9,622       11,678       2,051         40       9,093       12,731       13,374       15,581       4,042         19       \( \frac{2}{3}\) 55.62       \( \frac{2}{3}\) 79.39       \( \frac{2}{3}\) 83.23       \( \frac{2}{3}\) 96.95       \( \frac{2}{3}\) 25.16       \( \frac{2}{3}\)         85       \( \frac{2}{3}\) 24,043       \( \frac{2}{3}\) 27,993       \( \frac{2}{3}\) 24,182       \( \frac{2}{3}\) 83,244         81       70,106       76,800       84,644       83,875       83,244         44       318,739       366,254       385,300       388,585       351,869       3,</td><td>2004         2005         2006         2007         2008         2009           \$334,254         \$361,477         \$397,509         \$452,520         \$470,648         \$400,232         \$4,13,723           \$13,723         \$17,962         \$22,262         \$21,328         \$28,959         \$9,131           \$14,061         \$18,287         \$23,277         \$24,799         \$30,097         \$7,980           \$5,554         \$7,225         \$9,078         \$9,622         \$11,678         \$2,051           \$6,440         \$9,093         \$12,731         \$13,374         \$15,581         \$4,042           \$39.19         \$\$55.62         \$\$79.39         \$\$83.23         \$\$96.95         \$\$25.16         \$\$12.00         \$20.00         \$20.00         \$20.00         \$20.00         \$20.00         \$20.00         \$\$20.00         \$\$20.00         \$\$3,00         \$\$3,001</td></t<>	2005       2006       2007       2008       2009         \$4361,477       \$4397,509       \$4452,520       \$470,648       \$4400,232       \$4,17,962       \$2,262       \$21,328       \$28,959       \$9,131         \$18,287       \$23,277       \$24,799       \$30,097       \$7,980         \$7,225       \$9,078       \$9,622       \$11,678       \$2,051         \$9,093       \$12,731       \$13,374       \$15,581       \$4,042         \$4,042       \$4,042       \$4,042       \$4,042       \$4,042         \$4,043       \$4,049	2005       2006       2007       2008       2009         54       \( \frac{2}{3}\) \) 17,962       22,262       21,328       28,959       9,131         51       18,287       23,277       24,799       30,097       7,980         54       7,225       9,078       9,622       11,678       2,051         40       9,093       12,731       13,374       15,581       4,042         19       \( \frac{2}{3}\) 55.62       \( \frac{2}{3}\) 79.39       \( \frac{2}{3}\) 83.23       \( \frac{2}{3}\) 96.95       \( \frac{2}{3}\) 25.16       \( \frac{2}{3}\)         85       \( \frac{2}{3}\) 24,043       \( \frac{2}{3}\) 27,993       \( \frac{2}{3}\) 24,182       \( \frac{2}{3}\) 83,244         81       70,106       76,800       84,644       83,875       83,244         44       318,739       366,254       385,300       388,585       351,869       3,	2004         2005         2006         2007         2008         2009           \$334,254         \$361,477         \$397,509         \$452,520         \$470,648         \$400,232         \$4,13,723           \$13,723         \$17,962         \$22,262         \$21,328         \$28,959         \$9,131           \$14,061         \$18,287         \$23,277         \$24,799         \$30,097         \$7,980           \$5,554         \$7,225         \$9,078         \$9,622         \$11,678         \$2,051           \$6,440         \$9,093         \$12,731         \$13,374         \$15,581         \$4,042           \$39.19         \$\$55.62         \$\$79.39         \$\$83.23         \$\$96.95         \$\$25.16         \$\$12.00         \$20.00         \$20.00         \$20.00         \$20.00         \$20.00         \$20.00         \$\$20.00         \$\$20.00         \$\$3,00         \$\$3,001







# 経営報告

# 事業概況

小糸グループは、株式会社小糸製作所及び子会社26社、関連会社2社、その他の関係会社1社で構成されており、自動車照明器、航空機部品、鉄道車両部品、各種電気機器、計測機器などの製造・販売、及びこれに関連した金融、物流などを主たる業務としています。

#### 売上高

自動車産業につきましては、国内外の景気減退の影響を受け、国内生産は内需が減少するなか、期後半からは牽引役の輸出向けも減少し、生産台数は大幅減産となり2001年度以来7年振りの1,000万台割れとなりました。海外におきましても、北米・欧州を中心に世界各地域で大幅減産となり、好調であったアジア地域でも減産傾向が強まり、総じて世界の自動車生産台数は前年比2割減と急激に縮小いたしました。

このような状況のもと、当期における売上高は、主力の自動車照明関連事業が自動車減産の影響に伴い大幅減収となり、4,002億円(前期比15.0%減)となりました。

# 利益

利益につきましては、国内外における自動車減産、特に第4四半期における各自動車メーカーの在庫調整を含めた大幅、且つ急激な減産により収益が大幅に悪化いたしました。受注量の減少に対応するため、設備投資抑制、国内工場の一時閉鎖など事業規模のダウンサイジングを図るとともに、役員報酬及び管理職給与の減額等グループ各社挙げての原価低減諸施策を強力に推進、合理化に努めましたものの、営業利益は91億円(同68.5%減)となり、経常利益は92億円(同69.5%減)、当期純利益は40億円(同74.1%減)となりました。

# 事業別業績概要

# 自動車照明関連事業

期前半は順調な自動車需要に支えられ前期を上回る受注状況で推移いたしましたが、期後半からは、日本・北米・欧州を中心に世界各地域で、急激、且つ大幅な自動車減産となり、当社グループの受注量も激減し、売上高は3,172億円(同19.0%減)となり、営業利益は65億円(同75.8%減)となりました。

# 自動車照明以外・電気機器関連事業

情報システム機器、照明機器等の売上が低調となるなか、新幹線向けをはじめとする鉄道車両用機器の売上が順調に推移したことから、売上高は442億円(同3.1%増)となり、営業利益は28億円(同5.9%増)となりました。

# その他事業

航空機用、及び鉄道車両用シートが減少する一方、自動車用ヘッドランプクリーナ等が増加し、売上高は387億円(同8.0%増)となり、営業利益は14億円(同321.0%増)となりました。

# 地域別業績概要

# 日本

主力の自動車照明関連事業においては、LEDヘッドランプ、ディスチャージヘッドランプ、AFS(配光可変型ヘッドランプ)、LEDリアコンビネーションランプなど高付加価値製品の新車装着率が一層高まったものの、国内外における自動車減産により、売上高は2,633億円(同11.2%減)となり、営業利益は104億円(同52.5%減)となりました。

# 北米

急激、且つ大幅な自動車減産の影響を受け、売上高は424億円(同27.1減)となり、15億円の営業損失となりました。

## アジア

世界的な自動車減産の影響を受け、自動車照明器の売上が減少、売上高は773億円(同14.9%減)となったものの、原価低減諸施策の推進、合理化に努めた結果、営業利益は57億円(同0.1%増)とほぼ前期並みを確保いたしました。

#### 欧州

自動車生産が減少するなか、現地自動車メーカー向けを主体に自動車照明器の拡販活動を展開したものの、売上高は171億円(同31.5%減)となり、38億円の営業損失となりました。

# 財務状態

資産の部において、当期末における総資産は3,518億円となり、前期末に比べ367億円減少いたしました。設備投資抑制に伴う有形固定資産の減、及び投資有価証券の減等により固定資産が減少したことが主な要因であります。

負債の残高は、買掛金など仕入債務の減少に伴い、前期末に比べ268億円減少し1,773億円となりました。

資本の残高は、評価・換算差額金等が減少し1,421億円となりました。

## キャッシュ・フロー

営業活動によるキャッシュ・フローは、当期純利益の減少により前期に比べ93億円減少し、312億円となりました。

投資活動によるキャッシュ・フローは、設備投資抑制や、有価証券及び投資有価証券の取得減などにより、前期に比べ137億円減少し288億円の支出となりました。

財務活動によるキャッシュ・フローは、配当金支払があったものの、借入金による資金調達により、前期 に比べ14億円増加の4億円の収入となりました。

以上の結果、当期末における現金及び現金同等物は196億円となり、前期末に比べ29億円増加いたしました。

# 設備投資

設備投資につきましては、生産の合理化並びに更新、製品の高品質化、原価低減などを目的として自動車照明関連事業を中心に**311**億円の設備投資を実施しました。当期の設備投資(有形固定資産振替ベース数値。金額には消費税などは含まない。)の内訳は次のとおりです。

自動車照明関連事業では、新製品・モデルチェンジ対応、品質向上及び合理化・原価低減対応の設備など292億円の投資を実施しました。自動車照明以外・電気機器関連事業では、交通管制システム製造装置の更新を中心に13億円の投資を実施しました。その他事業では、電子部品など新商品関連設備投資を中心に6億円の投資を実施しました。

また、所要資金は自己資金及び借入金によって充当いたしました。 当期において重要な設備の除却・売却などはありませんでした。

# 対処すべき課題

# (1)小糸グループの現状の認識について

国内外の経済情勢は、世界的な金融危機、株価の大幅下落、為替変動により、世界同時不況の最中にあり、当社を取り巻く経営環境は、極めて厳しい状況にあります。

このような状況のなか、小糸グループは、受注活動の強化、生産性向上、相互供給・相互補完に加え、生産量に見合った事業規模への更なるダウンサイジング、及び原価低減諸施策の強力な展開を図り、今後とも業績改善に取り組んでまいります。

## (2) 当面の対処すべき課題の内容

小糸グループは、グローバルサプライヤーとして、世界の自動車産業動向などに柔軟に対応できる開発・ 生産・販売体制の確立、及び経営体制・組織の再編・強化と、企業活動の内部統制充実が課題であります。 これに対処すべく、市場・得意先ニーズを先取りした革新的新技術・新製品開発、開発期間短縮、環境 保全などに加え、受注量に見合った事業体制構築、生産性向上、グループを挙げての原価低減活動、品質 向上活動・相互補完の推進、経営資源の有効活用など、経営体質強化に努めています。

また、内部統制につきましては、すべてのステークホルダーから信頼される企業であり続けるために、企業倫理の重要性を認識し、経営の健全性、経営の意思決定と業務執行の透明性・公正性を確保するとともに、金融商品取引法(日本版SOX法)への的確な対応を図るべく、コーポレート・ガバナンスの充実、及びコンプライアンスの強化に努めています。

# (3)対処方針

小糸グループは、企業メッセージ「安全を光に託して」のもと、自動車照明器、電気機器メーカーとして、お客さまの求める新しい価値を創造、より良い社会の実現に貢献してまいります。また、開発力の革新的向上と最先端技術の追求により商品力の向上、開発期間の短縮、原価低減諸施策を進め、市場競争力の強化を図るとともに一層の経営の効率化を進め、グローバルシェアの拡大と海外収益の確保を図ってまいります。

# (4)具体的な取り組み状況など

小糸グループが更なる発展を遂げていくための取り組み状況は次のとおりです。

- ①自動車産業の世界最適地生産・調達・供給の拡大に対応したグローバルサプライヤーとして、海外拠点における開発・生産・販売体制を更に強化するとともに、グループ内の相互補完体制などグローバル4極対応(日本・北米・欧州・アジア)の充実を図ります。
- ②お客さま・市場ニーズを先取りした先端技術の開発と迅速な商品化を図り、タイムリーに魅力ある製品を提供します。
- ③高品質・安全性を追求するとともに、環境保全を推進します。
- ④経営資源の確保と有効活用により、収益構造・企業体質の更なる強化を図ります。

# 事業におけるリスク要因

小糸グループの経営成績・株価、及び財務状況などに影響を及ぼす可能性のある事項には以下のようなものがあります。なお、文中における将来に関する事項は、2009年6月29日現在において当社が判断したものです。

#### (1)経済状況

小糸グループの全世界における営業収入のうち、重要な部分を占める自動車照明関連製品の需要は小糸グループが製品を販売している国または地域の経済状況の影響を受けます。したがいまして、日本・北米・アジア・欧州を含む小糸グループの主要市場における景気後退、及びそれに伴う需要の縮小は、小糸グループの業績及び財務状況に悪影響を及ぼす可能性があります。

# (2)法的規制

小糸グループの主要製品である自動車照明器は、日本国内のみならず事業展開する各国において、自動車の重要な保安部品として道路運送車両法、保安基準などのさまざまな法的規制を受けています。したがいまして、予期せぬ法的規制の変更が生じた場合、小糸グループの業績及び財務状況に悪影響を及ぼす可能性があります。

# (3)為替相場の変動

小糸グループの事業には、全世界における製品の生産と販売が含まれています。各地域における売上・費用・資産・負債などを含む現地通貨建ての項目は連結財務諸表作成のため円換算されています。したがいまして、換算時の為替相場により、これらの項目は、現地通貨で変動がない場合でも円換算後の価額に影響を及ぼす可能性があります。一般に、他の通貨に対する円高(特に小糸グループの売上の重要部分を占める米ドル)は小糸グループの業績及び財務状況に悪影響を及ぼす可能性があります。

# (4)海外進出に潜在するリスク

小糸グループの生産及び販売活動のうち、海外依存度は急速に高まっており、これらの海外市場への 事業進出に内在しているリスクは以下のとおりであります。

- ①予期しない法律または規則の変更
- ②不利な政治または経済要因
- ③テロ、戦争、その他の要因による社会的混乱

# (5)製品の欠陥

小糸グループは、日本国内及び事業展開する各国において認められている品質管理基準にしたがって製品を製造していますが、将来にわたってすべての製品に欠陥がなくリコールなどに伴う費用が発生しないという保証はありません。そのため製品の欠陥に伴い小糸グループの業績及び財務状況に悪影響を及ぼす可能性があります。

# (6)原材料の価格変動

小糸グループは、原材料価格の変動リスクに直面しています。特に主要原料である樹脂材料は、原油価格相場の高騰によって調達コストが増大する可能性があり、小糸グループの業績及び財務状況に悪影響を及ぼす可能性があります。

#### (7)自然災害など

地震や台風などの自然災害によって、小糸グループの生産・物流・販売等の拠点が被害を被るリスクがあります。災害防止活動や設備点検を行っていますが、これら災害による影響を完全に防止できる保証はありません。特に日本における製造拠点の殆どが静岡県に集中しており、万一大規模な災害が発生した場合、小糸グループにおける自動車照明器などの生産能力が著しく低下する可能性があり、小糸グループの業績及び財務状況に悪影響を及ぼす可能性があります。

# 連結貸借対照表

	百	千米ドル	
3月31日現在	2008	2009	2009
資産			
流動資産:			
現金預金及び現金同等物・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	¥ 16,709	¥ 19,672	\$ 200,265
受取手形及び売掛金・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	95,951	70,209	714,741
控除:貸倒引当金	(936)	(1,089)	(11,086)
	95,015	69,120	703,655
有価証券	7,666	3,866	39,357
棚卸資産	39,810	37,452	381,268
繰延税金資産(注6)	6,365	4,138	42,126
前払費用及びその他の流動資産	12,929	9,712	98,870
流動資産合計	178,494	143,962	1,465,560
投資等:			
投資有価証券	98,921	90,456	920,859
長期貸付金	598	595	6,057
繰延税金資産(注6)	3,502	14,578	148,407
その他の投資	5,616	4,051	41,240
控除:貸倒引当金	(227)	(234)	(2,382)
投資等合計	108,412	109,447	1,114,191
有形固定資產、取得原価:			
建物及び構築物	79,573	82,820	843,123
機械装置及び器具備品	194,712	201,437	2,050,667
控除:減価償却累計額	(190,410)	(201,012)	(2,046,340)
	83,875	83,244	847,440
土地	12,591	12,928	131,609
建設仮勘定	5,211	2,286	23,272
有形固定資産、純額	101,677	98,458	1,002,321
資産合計	¥ 388,585	¥ 351,869	\$ 3,582,093

	百	千米ドル	
3月31日現在	2008	2009	2009
負債及び資本			
流動負債:			
支払手形及び買掛金・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	¥ 78,378	¥ 57,641	\$ 586,796
短期借入金(注4)	33,846	43,737	445,251
未払法人税等	5,101	841	8,562
未払費用及びその他の流動負債	34,356	28,652	291,683
流動負債合計	151,681	130,871	1,332,292
固定負債:			
<b>- 長期借入金(注4)</b>	23,513	17,198	175,079
退職給付引当金(注5)	26,549	26,740	272,218
その他の固定負債・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	2,492	2.574	26,204
固定負債合計	52,554	46,512	473,501
<b>偶発債務</b> (注7)			
少数株主持分	32,635	32,301	328,830
資本:			
資本金	14,270	14,270	145,271
授権資本株式数320,000,000株及び2008年、2009年3月31日現在			
発行済株式数160,789,436株			
資本剰余金	17,107	17,107	174,152
利益剰余金	110,980	109,289	1,112,583
その他有価証券評価差額金	10,292	3,246	33,045
為替換算調整勘定	(876)	(1,664)	(16,940)
自己株式、取得原価			
2008年77,000株、2009年82,000株	(61)	(66)	(672)
資本合計	151,713	142,184	1,447,460
負債及び資本合計・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	¥388,585	¥351,869	\$3,582,093

# 連結損益計算書

	百万	千米ドル		
3月31日に終了した事業年度	2008	2009		2009
売上高	¥470,648	¥400,232	\$4	,074,438
売上原価	404,414	355,703	3	,621,124
売上総利益	66,234	44,529		453,314
販売費及び一般管理費	37,274	35,397		360,348
営業利益	28,959	9,131		92,955
その他の収益(費用):				
受取利息	1,614	1,656		16,858
支払利息	(1,399)	(1,178)		(11,992)
固定資産除売却損	(275)	(378)		(3,848)
その他、純額	1,198	(1,251)		(12,735)
税金等調整前及び少数株主利益控除前当期純利益	30,097	7,980		81,238
法人税、住民税及び事業税・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	11,678	2,051		20,880
少数株主利益控除前当期純利益	18,419	5,929		60,358
少数株主利益	2,837	1,886		19,200
<b>当期純利益</b>	¥ 15,581	¥ 4,042	\$	41,148
	·	<b>ч</b>		米ドル
	2008	2009		<b>2009</b>
1株当たり金額:	2300	2000		
当期純利益	¥ 96.95	¥ 25.16	\$	0.26
配当額	23	20	-	0.20
<b>期中平均株式総数</b> (千株)	160,714	160,709		160,709

# 連結株主持分計算書

	百万	千米ドル	
3月31日に終了した事業年度	2008	2009	2009
資本金:			
期首残高	¥ 14,270	¥ 14,270	\$ 145,271
期末残高	¥ 14,270	¥ 14,270	\$ 145,271
資本剩余金:			
#首残高	¥ 17,107	¥ 17,107	\$ 174,152
期末残高	¥ 17,107	¥ 17,107	\$ 174,152
III THE AA.			
<b>利益剰余金:</b> 期首残高	¥ 99,299	¥110,980	\$1,129,797
当期純利益	15,581	4,042	41,148
減少:			
年間配当額	(3,535)	(3,857)	(39,265)
連結子会社の増加に伴う変動額	(365)	_	-
その他	_	(1,876)	(19,098)
期末残高	¥110,980	¥109,289	\$1,112,583
その他有価証券評価差額金、	¥ 10,292	¥ 3,246	\$ 33,045
海替換算調整勘定 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	(876)	(1,664)	(16,940)
自己株式、取得原価	(61)	(66)	(672)
資本合計	¥151,713	¥142,184	\$1,447,460

# 連結キャッシュ・フロー計算書

	百万	百万円	
3月31日に終了した事業年度	2008	2009	2009
営業活動によるキャッシュ・フロー:			
当期純利益	¥ 15,581	¥ 4,042	\$ 41,148
当期純利益から営業活動によるキャッシュ・フローへの調整			
減価償却費	25,140	26,716	271,974
少数株主利益	2,837	1,886	19,200
貸倒引当金の増加....................................	(71)	179	1,822
退職給付引当金の増加・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	426	440	4,479
有価証券評価損(益)	(4)	460	4,683
有形固定資産除売却損(益)	225	658	6,699
営業資産及び負債の増減			
売掛金及び受取手形	(231)	24,390	248,295
棚卸資産	(2,534)	895	9,111
前払費用その他・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	(3,663)	3,130	31,864
支払手形及び買掛金・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	158	(18,876)	(192,161)
未払費用及びその他の流動負債	1,772	(4,618)	(47,012)
その他、純額	886	(8,031)	(81,757)
営業活動によるキャッシュ・フロー・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	40,522	31.271	318,345
			020,010
投資活動によるキャッシュ・フロー:			
有形固定資産の取得による支出・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	(28,306)	(27,189)	(276,789)
有形固定資産の売却収入・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	403	225	2,291
有価証券の取得による支出・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	(41,830)	(17,036)	(173,430)
有価証券の売却による収入・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	28,829	15,679	159,615
長期貸付金の減少(増加)	(312)	14	143
その他の投資等の(増)減	(1,375)	(533)	(5,426)
投資活動によるキャッシュ・フロー・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	(42.591)	(28,840)	(293,597)
汉兵川刧にのの「アノフェ フロー・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	(42,591)	(20,040)	(293,591)
財務活動によるキャッシュ・フロー:			
短期借入金の増(減)	(6.242)	2 252	22 106
短期個人並の増(減)	(6,242) 9,598	3,252	33,106 27,782
	•	2,729	(51)
	(7)	(5)	
	(4,368)	(5,545)	(56,449)
財務活動によるキャッシュ・フロー・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	(1,019)	431	4,388
現金及び現金同等物に係る換算差額・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	(199)	103	1,049
現金及び現金同等物の増加(減少)額・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	(3,287)	2,964	30,174
現金及び現金同等物の期首残高・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	19,996	16,709	170,101
現金及び現金同等物の期末残高・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	¥ 16,709	¥ 19,672	\$ 200,265
	=	======	

# 連結財務諸表注記

# 1. 財務書類の作成基準

株式会社小糸製作所(以下「会社」という)及び関係会社は、日本の財務会計の基準に従い会計帳簿を作成し、また海外の関係会社はその国の基準に従い会計帳簿を作成している。

添付の連結財務諸表は、日本の金融商品取引法及びその関連会計諸規則並びに日本において一般に公正妥当と認められている会計原則に従って作成されている。連結財務諸表の作成にあたり、海外の連結財務諸表読者の便宜を図るため、一部修正、組替及び追加的情報を行っている。

# 2. 重要な会計方針の要約

# (1) 添付の2008年及び2009年3月31日の連結財務諸表には、会社及び以下に掲げる25の関係会社の勘定が含まれている。

連結された関係会社の名称	持株比率(*) %
小糸九州株式会社	100
小糸工業株式会社	50
コイト運輸株式会社	100
コイトエンタープライズ株式会社	100
アオイテック株式会社	70
静岡電装株式会社	100
日星工業株式会社	62
藤枝オートライティング株式会社	100
静岡ワイヤーハーネス株式会社	100
榛原工機株式会社	100
静岡金型株式会社	40
ミナモト通信株式会社	100
丘山産業株式会社	51
ノース・アメリカン・ライティング・インク	100
コイト·ヨーロッパNV	100
コイト・ヨーロッパ・リミテッド	100
コイト・チェコs.r.o.	100
上海小糸車灯有限公司	45
広州小糸車灯有限公司	100
福州小糸大億車灯有限公司	67
タイ・コイト・カンパニー・リミテッド	62
大億交通工業製造股份有限公司	33
インディア・ジャパン・ライティング・プライベート・リミテッド	50
KPS N.A., INC.	100
常州小糸今創交通設備有限公司	50

<sup>(\*) 2009</sup>年3月31日における直接・間接の持株割合を示している。

# (2) 連結の原則及び非連結関係会社・関連会社に対する投資の会計処理

添付の連結財務諸表は、会社及び重要な関係会社の諸勘定を含んでいる。すべての重要な連結会社間残高及び取引は連結上消去されている。連結関係会社の投資勘定の超過額は5年間で償却されている。

2つの関連会社(持株比率20%から50%)に対する投資は、取得原価に配分されない利益を加算して計上されている。連結当期純利益は、関連会社の利益または損失のうち内部未実現利益消去後の会社の資本に相当する分を含んでいる。

#### (3) 外貨建財務情報の換算

海外関係会社の連結貸借対照表科目は、取得時換算レートによって換算されている資本の部を除き、貸借対照表日現在の円レートによって換算されている。損益科目は年間の平均レートによって換算されている。

換算による差額は、少数株主持分及び資本の部における為替換算調整勘定に含めて計上している。

# (4) 棚卸資産

棚卸資産は主として原価によって計上されている。製品及び仕掛品は総平均法により、材料及び貯蔵品は移動平均法によって決定されている。外国関係会社の棚卸資産については、移動平均法により、低価法を適用している。

# (5) 有価証券

有価証券はその種類別により以下のような評価となっている:

売買目的有価証券 時価法 満期保有目的有価証券 償却原価法

その他有価証券時価のあるもの 決算日の市場価格等に基づく時価法

その他有価証券時価のないもの 移動平均法による原価法

特定金銭信託時価法

# (6) 有形固定資産及び減価償却

有形固定資産は取得価額から減価償却累計額を差し引いて計上されている。減価償却は資産の見積耐用年数に基づく率によって定率法または定額法により計算されている。

会社で保有している機械装置については3年から7年の会社で見積もった耐用年数によって計算されている。小規模の改善及び改良を含めた通常の修繕維持費は発生時に費用に計上されている。

# (7) 退職給付引当金

会社の退職金規程によれば、一定の従業員は退職時に退職金を受け取る資格を有している。その給付金額は勤続年数、退職時の給与水準及び退職理由を基礎としている。

会社は、上記の退職金規程のもと退職年齢における支払金額すべてをまかなう非拠出型の企業年金基金を有している。

当期末の退職給付引当金は、退職金受給権利の有る全従業員の退職給付に備えるため、当期末における退職給付債務見込額から年金資産として積み立てられた見込額を控除した額である。

子会社の小糸工業では、確定給付型の制度として、企業年金基金制度及び退職一時金制度を、その他の国内連結子会社については、適格退職年金制度及び退職一時金制度を設けている。また、一部の海外子会社は、確定拠出型制度及び確定給付型制度を設けている。

取締役及び監査役は退任時に累積功労金を受け取る資格が得られる退任慰労金支給規程により賄われている。その金額は在任期間及び退任時の報酬水準によって決定されている。

この取締役及び監査役に対する退職給与引当金相当額は当連結貸借対照表上、その他の固定負債に含まれている。

# (8) 税金

会社及び連結子会社は資産・負債法による税効果会計を適用している。この方法では、繰延税金資産及び繰延税金負債は、現行の 法定税率に基づいて、資産及び負債の会計上の簿価と税務上の価額の間の一時的差異による将来の税務上の影響額として認識されている。

# (9) 利益剰余金の処分

日本の会社法に基づき、利益剰余金の処分(主として年間配当額の支払)は、取締役会の提案により、事業年度終了後3ヵ月以内に開催された株主総会で承認されなければならない。この処分に加えて、会社法は取締役会に期中の一定の日において株主に現金配当すること(中間配当)を認めている。添付の各事業年度の連結財務諸表に反映されている利益剰余金の処分は株主総会または取締役会の承認を得ている。

# (10) 研究開発費

研究開発費は発生時に費用に計上されている。

# (11) 1株当たり当期純利益及び配当額

1株当たり当期純利益は、期中平均発行済普通株式数で除すことにより計算している。

1株当たり現金配当額は、各年度の「中間配当」を含めて記載している。

### (12) 現金同等物

現金及び現金同等物には、定期預金及び容易に換金できる市場性ある有価証券で当初満期日が3ヵ月以内のものが含まれている。

#### (13) 消費税

消費税は、いくつかの例外を除き財貨役務の国内消費に対し、5%の定率によって課せられる。売上時に預る消費税及び購入時に支払う消費税は連結損益計算書上、それぞれ収益または原価、費用に含まれず、資産または負債として計上された後、差額がその他の流動負債に含めて計上されている。

# (14) デリバティブ取引

会社はヘッジ手段としての先物為替予約と金利スワップ契約を利用している。このヘッジ取引の対象は外貨建取引から予測される 為替変動リスクと借入金の金利変動リスクを回避するために、確定した取引についてのみ行うものである。また、将来の外貨建取引 や金利負担のある借入金取引による影響を受けないように、キャッシュ・フロー価額を一定に保つ目的でするものである。このヘッジ 手続の性格上、重要な損失が発生することはない。

# 3. 米ドル金額

米ドル金額は、ただ読者の便宜のためにのみ記載されている。2009年3月31日の1ドル98.23円のレートが使用されている。この換算は、円金額がそのレートあるいはその他のどのようなレートによっても容易に米ドルに換算されたり、されるであろうとか、また実現したり精算されたりするということを意味しているものではない。

# 4. 短期借入金及び長期借入金

2008年及び2009年3月31日の短期借入金は以下のもので構成されている。

2008年及び2009年3月31日の短期恒人並は以下のもので構成されている。			
	2008	万円 <b>2009</b>	千米ドル <b>2009</b>
	2000	2003	2003
会社	_	_	_
連結関係会社	¥33,846	¥43,737	\$445,251
合計	¥33,846	¥43,737	\$445,251
			<del>•••••••••••••••••••••••••••••••••••••</del>
2008年及び2009年3月31日の長期借入金は以下のもので構成されている。			
	百	万円	千米ドル
	2008	2009	2009
銀行借入			
会社	_	_	_
連結関係会社	¥23,513	¥17,198	\$175,079
合計	¥23,513	¥17,198	\$175,079
2008年及び2009年3月31日の退職給付引当金は以下のもので構成されている。	百	万円	千米ドル
	2008	2009	2009
退職給付債務	¥(56,084)	¥(57,290)	\$(583,223)
年金資産	29,916	27,822	283,233
未積立退職給付債務	(26,168)	(29,467)	(299,980)
会計基準変更時差異の未処理額	_	_	_
未認識数理計算上の差異	(381)	2,727	27,761
退職給付引当金貸借対照表計上額	¥(26,549)	¥(26,740)	\$(272,218)
2008年3月期及び2009年3月期の退職給付費用に関する事項:			
		万円	<u> </u>
出る神口	2008	2009	2009
勤務費用	¥2,363 1,106	¥2,455 1,124	\$24,992 11,443
利息費用	(578)	1,124 (536)	11,443 (5,457)
新付連用収益···· 会計基準変更時差異の費用処理額····································	(318)	(336)	(5,457)
数理計算上の差異の費用処理額・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	1,291	734	7,472
計	¥4,183	¥3,777	\$38,451
П	+4,103	+3,111	930,43 <u>1</u>

# 6. 法人税等

会社及び国内関係子会社は所得に応じて国税及び地方税が課せられる。この法定実効税率は約40%になる。 外国関係子会社にはそれぞれの国の所得税が課せられる。

# (1) 2008年及び2009年3月31日の繰延税金資産及び繰延税金負債の主な原因別の内訳:

	百	万円	千米ドル
	2008	2009	2009
繰延税金資産:			
賞与引当金超過額	¥ 1,908	¥ 1,935	\$ 19,699
退職給付引当金超過額	9,823	11,215	114,171
役員退職慰労引当金	614	719	7,320
減価償却費超過額、他	1,731	1,430	14,558
投資有価証券評価損、他	551	874	8,897
保有土地評価損	478	664	6,760
クレーム費用	1,278	1,275	12,980
製品保証引当金	528	679	6,912
その他	7	2,606	26,530
繰延税金資産 計	¥16,921	¥21,397	\$217,826
繰延税金負債:			
買換資産圧縮積立金	¥ (528)	¥ (524)	\$ (5,334)
その他有価証券評価差額金	(6,525)	(2,155)	(21,938)
繰延税金負債 計	¥ (7,053)	¥ (2,680)	\$ (27,283)
繰延税金資産(負債)の純額	¥ 9,868	¥18,716	\$190,532
(2) 2008年及び2009年3月31日の繰延税金資産及び繰延税金負債は貸借対照表に	以下の通り計」	 :されている:	
	百	万円	千米ドル
	2008	2009	2009
   繰延税金資産	¥6,365	¥ 4,138	\$ 42,126
繰延税金資産—固定資産	3,502	14,578	148,407
繰延税金資産(負債)の純額	¥9,868	¥18,716	\$190,532

# 7. 偶発債務

2008年及び2009年3月31日現在、会社及び連結関係会社は以下の偶発債務を負っている。

	<u>    日</u> 月円		十木ドル	
	2008	2009	2009	
従業員の住宅ローン等に対する金融機関への保証	¥7	¥6	\$61	

ᆓᇀ

イルドロ

# 8. セグメント情報

# 事業別セグメント情報

会社は主として3つの事業セグメントを経営している。それぞれのセグメントは以下のような製品を有している。

自動車照明関連事業:LEDヘッドランプ、ディスチャージヘッドランプ、前照灯並びに補助灯、標識灯、ハイマウントストップ

ランプ、ハロゲン電球、その他各種小型電球、その他灯具等

自動車照明以外・電気機器関連事業:鉄道車両用制御機器、道路交通信号、交通管制システム等

その他事業 : 航空機部品・電子部品、ヘッドランプクリーナ、航空機・鉄道車両用シート、環境調節装置、金融・保険

業務等

				百万円		
	自動車照明 関連事業	自動車照明以外· 電気機器 関連事業	その他事業	合計	消去 又は全社	連結
2008年3月31日に終了した事業年度						
売上高:						
外部顧客に対する売上高	¥391,829	¥42,943	¥35,875	¥470,648	¥ –	¥470,648
セグメント間の内部売上高	125,284	2.050	10 120	127 475	(127 175)	
又は振替高	<del></del>	2,058	10,132	137,475	(137,475)	
売上高合計	¥517,114	¥45,001	¥46,007	¥608,124	¥(137,475)	¥470,648
営業費用	490,132	42,284	45,673	578,090	(136,400)	441,689
営業利益(損失)	¥ 26,981	¥ 2,717	¥ 334	¥ 30,034	¥ (1,075)	¥ 28,959
2008年3月31日現在の資産	¥232,751	¥46,781	¥62,008	¥341,540	¥ 47,045	¥388,585
減価償却費	¥ 23,129	¥ 927	¥ 1,032	¥ 25,088	¥ 52	¥ 25,140
資本的支出	¥ 26,295	¥ 778	¥ 604	¥ 27,677	¥ –	¥ 27,677
		自動車照明以外・		百万円		
	自動車照明 関連事業	電気機器 関連事業	その他事業	合計	消去 又は全社	連結
2009年3月31日に終了した事業年度 売上高:						
・ 外部顧客に対する売上高	¥317,208	¥44,292	¥38,732	¥400,232	¥ -	¥400,232
セグメント間の内部売上高						
又は振替高	96,527	1,951	14,732	113,211	(113,211)	_
売上高合計 :	¥413,735	¥46,243	¥53,464	¥513,444	¥(113,211)	¥400,232
営業費用	407,211	43,367	52,058	502,636	(111,535)	391,100
営業利益(損失)	¥ 6,524	¥ 2,876	¥ 1,406	¥ 10,807	¥ (1,676)	¥ 9,131
2009年3月31日現在の資産	¥195,716	¥50,670	¥56,154	¥302,540	¥ 49,329	¥351,869
減価償却費	¥ 24,325	¥ 1,048	¥ 1,275	¥ 26,648	¥ 68	¥ 26,716
資本的支出	¥ 29,200	¥ 1,353	¥ 611	¥ 31,164	¥ -	¥ 31,164
·	-					

				千米ドル		
		自動車照明以外:	-			
	自動車照明	電気機器			消去	
	関連事業	関連事業	その他事業	合計	又は全社	連結
2009年3月31日に終了した事業年度						
売上高:						
外部顧客に対する売上高	\$3,229,238	\$450,901	\$394,299	\$4,074,438	\$ -	\$4,074,438
セグメント間の内部売上高						
又は振替高	982,663	19,862	149,975	1,152,509	(1,152,509)	
売上高合計	\$4,211,901	\$470,762	\$544,274	\$5,226,957	\$(1,152,509)	\$4,074,438
営業費用	4,145,485	441,484	529,960	5,116,930	(1,135,447)	3,981,472
営業利益(損失)	\$ 66,416	\$ 29,278	\$ 14,313	\$ 110,017	\$ (17,062)	\$ 92,955
2009年3月31日現在の資産	\$1,992,426	\$515,830	\$571,658	\$3,079,914	\$ 502,179	\$3,582,093
減価償却費	\$ 247,633	\$ 10,669	\$ 12,980	\$ 271,282	\$ 692	\$ 271,974
資本的支出	\$ 297,262	\$ 13,774	\$ 6,220	\$ 317,255	\$ -	\$ 317,255

# 地域別セグメント情報

会社及び連結関係会社は、基本的に自動車照明及び電気関連事業に関する製品の製造・販売を営んでいる。これらの製品は、日本及び海外、主として北米、アジアそして欧州において販売されている。

2008年及び2009年3月31日に終了した事業年度の会社及び連結関係会社の地域別セグメント情報は以下の通りである。

				百万円			
	日本	北米	アジア	欧州	合計	消去 アは全社	連結
2008年3月31日に終		30/1		EXTI	— НЫ	入10工工	左巾I
売上高:	.」 ひに事来一反						
外部顧客に							
対する売上高	¥296,554	¥58,241	¥90,881	¥24,971	¥470,648	¥ –	¥470,648
セグメント間の							
内部売上高							
又は振替高	104,365	8	8,499	24,602	137,475	(137,475)	
売上高合計	¥400,919	¥58,250	¥99,380	¥49,574	¥608,124	¥(137,475)	¥470,648
営業費用	378,905	56,047	93,607	49,529	578,090	(136,400)	441,689
営業利益(損失)	¥ 22,014	¥ 2,202	¥ 5,773	¥ 44	¥ 30,034	¥ (1,075)	¥ 28,959
資産合計	¥234,675	¥24,394	¥57,302	¥25,169	¥341,540	¥ 47,045	¥388,585
				百万円			
	日本	北米	アジア	欧州	合計	消去 又は全社	連結
2009年3月31日に終		30/1		2011	ПЫ	入65工任	Æ/10
売上高:	1 0/2 4/1/2						
外部顧客に							
対する売上高	¥263,359	¥42,447	¥77,324	¥17,101	¥400,232	¥ -	¥400,232
セグメント間の							
内部売上高							
又は振替高	88,130	71	8,709	16,299	113,211	(113,211)	
売上高合計	¥351,490	¥42,518	¥86,034	¥33,401	¥513,444	¥(113,211)	¥400,232
営業費用	341,027	44,106	80,254	37,248	502,636	(111,535)	391,100
営業利益(損失)	¥ 10,463	¥ (1,587)	¥ 5,779	¥ (3,846)	¥ 10,807	¥ (1,676)	¥ 9,131
資産合計	¥211,161	¥24,114	¥54,362	¥12,903	¥302,540	¥ 49,329	¥351,869
				千米ドル			
	-			1 / 1 / 1/		 消去	
	日本	北米	アジア	欧州	合計	又は全社	連結
2009年3月31日に終	・ 了した事業年度						
売上高:							
外部顧客に							
対する売上高	\$2,681,044	\$432,118	\$787,173	\$174,091	\$4,074,438	\$ -	\$4,074,438
セグメント間の							
内部売上高	007.400	700	00.050	405.007	4 450 500	(4.450.500)	
又は振替高	897,180	723	88,659	165,927	1,152,509	(1,152,509)	÷4 074 420
売上高合計	\$3,578,235	\$432,841	\$875,842	\$340,029	\$5,226,957	<u>\$(1,152,509)</u>	\$4,074,438
営業費用	3,471,719	449,007	817,001	379,192	5,116,930	(1,135,447)	3,981,472
営業利益(損失)	\$ 106,515	\$ (16,156)	\$ 58,831	\$ (39,153)	\$ 110,017	\$ (17,062)	\$ 92,955
資産合計	\$2,149,659	\$245,485	\$553,415	\$131,355	\$3,079,914	\$ 502,179	\$3,582,093

# 9. 後発事象

2009年6月26日、会社の定時株主総会が開催され、剰余金の処分が以下の通り承認された。

	日万円	十木トル
配当額、1株8円(千株につき\$81.44)	¥1,285	\$13,082

# 独立監査人の監査報告書及び内部統制監査報告書

株式会社小糸製作所取締役会 御中

# (財務諸表監査)

私たちは、株式会社小糸製作所及び関係会社の円で表示されている2008年及び2009年3月31日現在の連結貸借対照表及び同日に終了した連結損益計算書、連結株主持分計算書及び連結キャッシュ・フロー計算書について監査を行った。これらの財務諸表は会社の経営陣の責任で作成されている。私たちの責任は私たちの監査に基づいてこれらの財務諸表に対して監査意見を表明することにある。

私たちは我が国において一般に認められた監査基準に準拠して監査を実施した。この監査基準は上記の財務諸表に重要な記載誤りがないかどうかについて合理的な確証を得るために、私たちが監査を計画し実施すべき旨を規定している。監査は財務諸表上の金額及び開示事項の基礎となった証拠を試査によって検証することを含んでいる。監査は、経営陣が適用した会計原則及び彼等が行った会計上の重要な見積りの検討並びに財務諸表全般の表示の検討も含んでいる。私たちは、私たちの監査が監査意見を表明するための合理的な基礎を提供しているものと確信している。私たちの意見では、上記の連結財務諸表はすべての重要な項目について、株式会社小糸製作所及び関係会社の2008年及び2009年3月31日現在の財政状態並びに同日に終了した事業年度の経営成績及びキャッシュ・フローの状況を、我が国において一般に認められた会計原則に準拠して適正に表示している。

2009年3月31日をもって終了した連結会計年度の連結財務諸表は、読者の便宜のため米ドルへ換算されている。私たちの監査は、円貨金額の米ドルへの換算を含み、当連結財務諸表の換算金額が、注記3.の基準に従って算出されているものと認める。

# (内部統制監査)

私たちは同じく、株式会社小糸製作所の2009年3月31日現在の内部統制報告書について監査を行った。財務報告に係る内部統制を整備及び運用並びに内部統制報告書を作成する責任は、経営者にあり、私たちの責任は、独立の立場から内部統制報告書に対する意見を表明することにある。また、財務報告に係る内部統制により財務報告の虚偽の記載を完全には防止又は発見することができない可能性がある。

私たちは、我が国において一般に公正妥当と認められる財務報告に係る内部統制の監査の基準に準拠して内部統制監査を行った。財務報告に係る内部統制の監査の基準は、私たちに内部統制報告書に重要な虚偽の表示がないかどうかの合理的な保証を得ることを求めている。内部統制監査は、試査を基礎として行われ、財務報告に係る内部統制の評価範囲、評価手続及び評価結果についての、経営者が行った記載を含め全体としての内部統制報告書の表示を検討することを含んでいる。私たちは、内部統制監査の結果として意見表明のための合理的な基礎を得たと判断している。

私たちは、株式会社小糸製作所が2009年3月31日現在の財務報告に係る内部統制は有効であると表示した上記の内部統制報告書が、一般に公正妥当と認められる財務報告に係る内部統制の評価の基礎に準拠して、財務報告に係る内部統制の評価について、すべての重要な点において適正に表示しているものと認める。



公認会計士 2009年6月19日

# コーポレート・インフォメーション

2009年3月31日現在

# 株式会社小糸製作所

本社所在地: 〒108-8711 東京都港区高輪四丁目8番3号

**創業年月日**: 1915年4月1日 **設立年月日**: 1936年4月1日 **資本金**: 142億70百万円 **従業員数**: 14,562名(連結) 4,307名(単独)

株式:

発行可能株式総数:320,000,000株発行済株式の総数:160,789,436株

**株主数:** 6,772名

株主名簿管理人: 三菱UFJ信託銀行株式会社

特別口座 口座管理機関

お問い合わせ先: 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部

〒137-8081

東京都江東区東砂七丁目10番11号 Tel: 0120-232-711(通話料無料)

大株主: トヨタ自動車株式会社

日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口) 日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口4G)

パナソニック株式会社

日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)

日本生命保険相互会社 株式会社三井住友銀行

お問い合わせ先: 株式会社小糸製作所

〒108-8711 東京都港区高輪四丁目8番3号

Tel: 03-3443-7111(代表) Fax: 03-3447-1520

インターネットホームページアドレス: http://www.koito.co.jp

# 株式会社小糸製作所 拠点一覧

# 本社

〒108-8711 東京都港区高輪四丁目8番3号

Tel: 03-3443-7111(代表) Fax: 03-3447-1520

# 国際本部

国際管理部

Tel: 03-3447-5171 Fax: 03-3447-5173

海外企画部

Tel: 054-345-4237 Fax: 054-345-4959

米州部

Tel: 03-3447-5166 Fax: 03-3447-5173

欧州部

Tel: 03-3447-5144 Fax: 03-3447-5173

アジア部

Tel: 03-3447-5164 Fax: 03-3447-5173

豪亜部

Tel: 03-3447-5172 Fax: 03-3447-5173

# 工場

静岡工場(静岡県)

Tel: 054-345-2251(代表) Fax: 054-346-9174

榛原工場(静岡県)

吉川工場(静岡県)

相良工場(静岡県)

富士川工機工場(静岡県)

# 研究所

研究所(静岡県)

# 国内営業拠点

東京支店(東京都)

Tel: 03-3447-5161 Fax: 03-3447-1660

豊田支店(愛知県)

Tel: 0565-28-1129 Fax: 0565-29-1217

大阪支店(大阪府)

Tel: 06-6391-6731 Fax: 06-6395-1154

広島支店(広島県)

Tel: 082-893-1281 Fax: 082-893-1341

札幌営業所(北海道)

仙台営業所(宮城県)

東京営業所(東京都)

宇都宮営業所(栃木県)

太田営業所(群馬県)

厚木営業所(神奈川県)

静岡営業所(静岡県)

名古屋営業所(愛知県)

大阪営業所(大阪府)

福岡営業所(福岡県)

# 海外事務所

## デトロイト事務所(米国)

c/o North American Lighting, Inc. 38900 Hills Tech Drive

Farmington Hills, Michigan 48331, U.S.A.

Tel: 1-248-553-6408 Fax: 1-248-553-6454

#### シアトル事務所(米国)

c/o Sojitz Corporation of America Bank of America Tower, Suite 1160,

701 5th Avenue, Seattle, Washington 98104, U.S.A. Tel: 1-206-386-5624 Fax: 1-206-386-5640

# グローバルネットワーク

# 海外関係会社

# ノース・アメリカン・ライティング・インク(米国)

 $2275 \ \mbox{South Main Street Paris, Illinois } 61944, \mbox{U.S.A.}$ 

Tel: 1-217-465-6600 Fax: 1-217-465-6610

# コイト・ヨーロッパ NV (ベルギー)

Vaartdijk 59, 3018 Leuven (Wijgmaal), Belgium

Tel: 32-16-7213-00 Fax: 32-16-7213-01

#### コイト・ヨーロッパ・リミテッド(英国)

Kingswood Road,

Hampton Lovett Industrial Estate, Droitwich, Worcestershire WR9 OQH, U.K.

Tel: 44-1905-790-800 Fax: 44-1905-794-466

# コイト・チェコ s.r.o. (チェコ)

Na Astre 3001, 438 01 Zatec, Czech Republic

Tel: 420-415-930-111 Fax: 420-415-930-109

#### 上海小糸車灯有限公司(中国)

767 Ye-cheng RD. Jia Ding South Door, Shanghai, 201800,

People's Republic of China Tel: 86-21-5916-1899 Fax: 86-21-5916-2899

# 広州小糸車灯有限公司(中国)

No. B01, Transnational Industry Park, Yuexi Village, Shilou Town, Panyu District, Guangzhou City, Guangdong 511447, People's Republic of China

Tel: 86-20-3930-7000 Fax: 86-20-3930-7020

# 福州小糸大億車灯有限公司(中国)

South East Motor Zone, Qingkou, Minhou, Fuzhou City, Fujian 350119,

People's Republic of China Tel: 86-591-2276-5266 Fax: 86-591-2276-7466

# タイ・コイト・カンパニー・リミテッド(タイ)

370 Moo 17 Tambol Bangsaothong Amphur Bangsaothong,

Samutprakarn 10540, Thailand

Tel: 66-2-706-7900 Fax: 66-2-315-3281

# 大億交通工業製造股份有限公司(台湾)

No.11 Shin-Sin Road, An-Ping Industrial District, Tainan, Taiwan, Republic of China

Tel: 886-6-261-5151 Fax: 886-6-264-4614

# インディア・ジャパン・ライティング・ プライベート・リミテッド(インド)

No.1, Puduchathram, (Via)Tirumazhisai, Tiruvellore High Road,

Tamilnadu 602-107, India Tel: 91-44-3910-6151 Fax: 91-44-3910-6106

#### KPS N.A., INC.(米国)

350 Executive Boulevard, Elmsford, New York

10523-1212, U.S.A. Tel: 1-914-593-0037 Fax: 1-914-593-0035

# 常州小糸今創交通設備有限公司(中国)

Industrial Park, Yaoguan Town, Wujin District,

Changzhou City, Jiangsu 213011, People's Republic of China Tel: 86-519-8837-6007 Fax: 86-519-8837-6006

# 海外技術供与会社

ノース・アメリカン・ライティング・インク(米国)

KPS N.A., INC.(米国)

エオサ社(メキシコ)

アルテブ社(ブラジル)

コイト・ヨーロッパ NV (ベルギー)

コイト・ヨーロッパ・リミテッド(英国)

オートモーティブ・ライティング・UK(英国)

コイト・チェコ s.r.o. (チェコ)

ヘラーKG社(ドイツ)

ヨルカ社(スペイン)

ファルバ社(トルコ)

オートモーティブ・ライティング・イタリア (イタリア)

上海小糸車灯有限公司(中国)

広州小糸車灯有限公司(中国)

福州小糸大億車灯有限公司(中国)

重慶小糸車灯有限公司(中国)

常州小糸今創交通設備有限公司(中国)

上海坦達軌道車輌座椅系統有限公司(中国)

タイ・コイト・カンパニー・リミテッド(タイ)

バンコク・ダイキャスティング・インジェクション社(タイ)

# 大億交通工業製造股份有限公司(台湾)

インディア・ジャパン・ライティング・ プライベート・リミテッド(インド)

ヘラー・オーストラリア社(オーストラリア)

ヘラー・フィリピン社(フィリピン)

ヘラー・南アフリカ社(南アフリカ)

イーピー・ポリマー社(マレーシア)

オービトロニクス・リミテッド(パキスタン)

# 国内関係会社

# 小糸九州株式会社

(佐賀県佐賀市)

自動車照明機器の製造・販売

#### 小糸工業株式会社

(神奈川県横浜市)

鉄道車両電装品、鉄道車両・航空機用シート、 道路情報システム機器、道路交通信号等の 製造・販売

# コイト運輸株式会社

(静岡県静岡市) 輸送業務

# コイトエンタープライズ株式会社

(東京都港区)

金融・保険・リース等

# アオイテック株式会社

(静岡県浜松市)

電子・電気通信精密機器の製造・販売

#### 静岡電装株式会社

(静岡県静岡市)

自動車照明機器の製造・販売

# 日星工業株式会社

(静岡県静岡市)

各種小型電球、電気機器の製造・販売

# 藤枝オートライティング株式会社

(静岡県藤枝市)

自動車照明機器の製造・販売

## 静岡ワイヤーハーネス株式会社

(静岡県静岡市)

自動車照明機器の製造・販売

# 榛原工機株式会社

(静岡県牧之原市)

樹脂成形用金型の製造・販売

# 静岡金型株式会社

(静岡県藤枝市)

樹脂成形用金型の製造・販売

# 竹田サンテック株式会社

(静岡県静岡市)

樹脂成形用金型の製造・販売

# 株式会社ニュー富士

(静岡県富士宮市) サービス業

# ミナモト通信株式会社

(神奈川県横浜市)

信号・保安機器の保守管理

#### 丘山産業株式会社

(群馬県邑楽郡)

鉄道車両シートの製造・販売



▲ 株式会社 小系製作所

